

平成29年第4回(9月)定例会<会期日程>

Table with 4 columns: Date (8月29日・9月1日, 5日・6日・7日, 11日・12日・13日, 22日), Meeting Type (本会議, 常任委員会 予算決算常任委員会, 本会議), and Agenda items (開会, 陳情, 議案, etc.).



氷川神社(諏訪)

平成28年度の決算審査行われる

平成29年第4回(9月)定例会が、8月29日から9月22日まで行われました。今定例会では、平成28年度の一般会計決算議案、国民健康保険をはじめとした6つの特別会計決算議案及び水道・下水道事業の企業会計決算2議案について、予算決算常任委員会の3つの分科会で審査しました。
決算議案以外では、平成29年度一般会計補正予算や入間東部地区衛生組合の解散及び同組合の解散に伴う財産処分など全部で11件の案件が市長から提出され、審議の結果、先の決算議案を含め、すべて先ず可決、認定、同意しました。
市民から提出された陳情5件については、1件を採択し、4件を不採択としました。
議員提出議案7件については、「小中学校におけるプログラミング教育必修化に対して支援を求める意見書」、「受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書」の2件を原案のとおり可決し、5件を否決としました。
9月11日から15日まで行われた市政一般質問には19人の議員が登壇し、執行部の考えをたどりました。

平成29年第4回(9月)定例会 審議結果

Table with 4 columns: 議案等番号, 議案等の名称, 議案等番号, 議案等の名称. Lists 17 items with their respective numbers and titles.

※「報告」については採決の対象ではありません。

○賛成 ×反対

Large table with 19 rows and 15 columns. Columns include 議案等番号, 議案等の名称, 審議結果, and 21 political parties (佐野正幸, 吉原孝好, etc.). Shows voting results for each item.

※表中、会派の「絆」は市民の絆を省略し表記しています。 ※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。 ※議長の本否の表明は議長を除く議員の本否が同数の場合のみです。

市議会議員の年賀状・暑中見舞状・祝金等寄附行為は、法律で禁止されております。皆様のご理解をお願いします。

9月11日・12日・13日・14日・15日の5日間にわたり、19人の議員が市民生活に関わる諸問題をはじめ、富士見市の将来を見据えた課題や施策等市政一般について、市長・教育長等の考えをたしました。ここでは、定められたスペースで質問者が執筆した原稿を掲載しました。

市民生活・環境などで活発な発言

吉原 孝好(21:未来クラブ)

①第7期高齢者保健福祉計画策定に向けた認知症施策の推進について

②賑わいと活気のあるふじみ野駅西口商店街の構築について

③市の支援協力の考えは。

④行政境を越えたふじみ野地区としてのブランドづくりを進める考えは。

⑤第2次商業活性化ビジョンにおいても、ふじみ野ブランド創出プラットフォーム事業を提唱している。引き続き、ブランドイメージ向上に向けた取り組みを鋭意進めていきたいと考えている。

津波 信子(公明党)

①富士見市の空き家や所有者不明土地について

②つるせ台小学校付近の鶴瀬西地域コミュニティ活動拠点(集合施設)について

③富士見市の成人式について

④検討していく。

⑤開催日を日曜日に実施を。行事が多く日程調整が難しいがより良い運営に努める。

心ふれあう安心のまちづくり 関野 兼太郎(21:未来クラブ)

①子どもたちが社会と関わっていくための教育を

②学校・家庭・地域の連携を深め、社会の一員として地域に積極的に貢献しようとする児童生徒の育成に取り組む。

③災害が予想される時に時系列に防災行動を整理する、防災タイムラインの活用を。

④ICTの活用について

⑤公の道路にまつわるトラブルをスマートフォンアプリで通報するシステムの導入を。有効性を認識しているが、導入には課題があり研究する。

人が孤立しない市を目指す 深瀬 優子(公明党)

①地方公会計の整備促進は

②受動喫煙防止対策について

③認知症患者等の外出時の行方不明を防ぐために

④身元確認シール(QRコード付き等)配布の実施は。

⑤早期発見のための方法として、今後、研究する。

斉藤 隆浩(21:未来クラブ)

①安全なまちづくりについて

②地球温暖化防止事業について

③環境施策推進市民会議推進委員と連携し、小中学生へ環境教育の意識づけを図るとともに、保護者である家族全体にもエコ意識が育まれることを目指す。

④グラウンドの環境整備について

⑤校庭一部芝生化の実施は。教育的効果は見込まれるが、生成維持管理に相当な負担があり、検討課題である。

佐野 正幸(21:未来クラブ)

①学力の向上について

②地域のつながりについて

③身元確認シールの活用について

④不審者・行方不明者情報等も含むメール配信を行えないか。

⑤近隣市町の効果等を十分に検証しながら、最も有効な対応を研究していく。

寺田 玲(日本共産党)

①受動喫煙防止対策を。

②保育制度の充実について

③今年度、実施する予定。

④公立保育所を建設すべき。

⑤平成27・29年度の歩みが遅くなったことは反省している。しかし、公立ではなく民間で整備していく。



健康増進センター内にオープンした子ども未来応援センター

小川 匠(日本共産党)

①核兵器のない世界に向けた市の取り組みについて

②視覚障がい者支援の充実を

③平和首長会議が行う「核兵器禁止条約の交渉開始等」を、市としても推進を。

④平和首長会議が協力している「ヒバクシャ国際署名」

川畑 勝弘(日本共産党)

①市民総合体育館について

②バスケットゴールが重く少人数では運ぶのが困難で時間がかり、スポーツする時間が無くなる。設計ミスでは、良い方法を検討する。

③バスケットゴールが重く少人数では運ぶのが困難で時間がかり、スポーツする時間が無くなる。設計ミスでは、良い方法を検討する。

④バスケットゴールが重く少人数では運ぶのが困難で時間がかり、スポーツする時間が無くなる。設計ミスでは、良い方法を検討する。

①バスケットゴールが重く少人数では運ぶのが困難で時間がかり、スポーツする時間が無くなる。設計ミスでは、良い方法を検討する。

①バスケットゴールが重く少人数では運ぶのが困難で時間がかり、スポーツする時間が無くなる。設計ミスでは、良い方法を検討する。

①バスケットゴールが重く少人数では運ぶのが困難で時間がかり、スポーツする時間が無くなる。設計ミスでは、良い方法を検討する。

議会を傍聴しませんか(9月定例会の傍聴者数は186人でした) 富士見市議会では、本会議及び委員会が公開となっています。市民の皆さんの代表である議員の活動や審議の状況を直接傍聴してみませんか。議会事務局で住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取り傍聴席に入ることができます。また、手話通訳を希望する場合には、早目に事務局へお知らせください。なお、ご希望の日に対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

加賀 奈々恵(草の根)

勝山 祥(草の根)

伊勢田 幸正(草の根)

村元 寛(草の根)

今成 優太(草の根)

八子 朋弘(草の根)

加藤 清(公明党)

安心安全なまちづくり
上杉 考哉(21・未来クラブ)

①国民健康保険の都道府県化移行に際して丁寧な対応を

平成30年度から実施される国保の都道府県化にあたって、今後の国保税は、

上がる予定。来年1月の確定納付金で額が分かる。

今後、一般会計から国保特別会計への法定外繰入はどのようにするか。

加入者の急激な負担増を避ける為、当面は一般会計から法定外繰入を行なっていく。

市長は今回の大幅な国保改革をどう評価するか。

以前は都道府県化で財政基盤が安定すると期待していたが、痛みを伴う改正となった。現在も国に財政基盤強化のお願いをしている。

②多様な性と共に生きる富士見市の実現を

小中学校の保健室や図書室にセクシュアルマイノリティに関するパンフレット等の設置を。

ポスターの掲示や事典を置くなどして対応している。

より積極的に生徒への出前講座等を実施してみたい。

今後、研究・検討する。

①福祉施設の防犯体制は

保育所の訓練の現状は、

さすまたを使用し東入間警察署と連携して行っている。

国、県からの通知や補助金、最新情報は、施設にどのように伝えるのか。

電話かメールで各施設に送付、さらに確認をしている。

②テレワーク(通信技術を活用した在宅など場所にとらわれない働き方)推進を

障害のある方の働き方としてテレワークを推進しては、

県の動きを注視したい。

市民の多くが近畿圏に通勤する奈良県天理市には、テレワークスペースがあり、会社に通勤せず勤務している。参考にしてはどうか。

産業育成の観点から有効。

③ジブリにちなんだ給食を

静岡県三島市で行っているジブリ作品に出てくる食事を、給食に再現してはどうか。

調理、食材確保が課題。

再現に当たり、技術的な課題はあるのか。

約900食を提供している中で、時間内に調理ができるか課題はあるが研究したい。

①少子化について

妊婦健診への助成回数は、

本市は14回までだが、15回以上の助成を行っている自治体も他県にはある。本市もできないか。

15回目以降は結果として、保険が適用される事例も多いため、考えていない。

一部自治体で行っている妊婦への「誕生準備手当」を本市も実施できないか。

手当支給よりも、サービスやケアの充実を力を入れる。

さいたま市が直営で行っている「思わぬ妊娠」への電話相談窓口を本市にも開設を。

健康増進センターでも数件相談に対応した実績がある。専用ダイヤルの開設などは今後、研究していく。

②再び、富士見市のPRについて

「ふわっぴー」の誕生日の2月23日が、ご譲位により新しい天皇誕生日として祝日になる。祝日に合わせ、新しいイベントを検討しては。

「富士見市を祝う日」などの切り口でイベントができないか、研究していく。

①「財政豊かな富士見市へ」について

基金の一括運用を開始したようだが、安全で、且つ運用益を得るために、国債や県債などの資産運用を始めては。

地方債などは非常に魅力的だ。会計管理者より再度提案を受けて、債券での運用に踏み切っていきたい。

②「みずほ学園」への支援体制について

改修・増築に伴い、子ども達の定員の増加や専門職として、常勤の正規職員を増員することにしているのか。

「みずほ学園」は宝だ。大切に思っている。今後も期待に応えられるように努力していく。

③「子育てするなら富士見市で」の市内外へのアピールについて

子育てについては切れ目のない充実したサービスを提供している富士見市だが、今後のアピールについては。

本市のホームページやメディアも含め、様々な媒体をフルに活用して、戦略的に進めていく。

①2市1町の合併について

ふじみ野市、三芳町においても議題があがっている。

いずれもある程度前向きである。本市の合併への考え方は、

具体的な話しはないが、社会情勢などを鑑みて、準備の必要性は感じている。

②駅前タクシーについて

タクシーの駅前使用許可台数(ロータリー乗り入れ台数)は市が決定しているのか。

鶴瀬駅東口は東武鉄道の所有地である為、それ以外のロータリーはその通りである。

雨天、夜間時など行列ができる。改善する対策を。

ロータリー面積を勘案して、乗り入れ台数を決定している。今現在、最大数であるが、タクシー事業者が改善要望をしようと思っている。

③PTA連合会について

要望書にも出ているが、連合会の事務局は会長校が行うことになっている。担当校の教頭の負担も多いと考える。事務局を市側に置くべきでは。

様々な懸案事項はあるが、連合会と協議はしようと思っ

①子どもの貧困対策について

設置が検討されている生活物資支援供給センターが食糧支援する際、就学援助家庭に直接ご案内している山梨県中央市の支援策を参考にすべきではないか。

中央市の支援策も含め、先進事例を参考にしたい。

②敬老会について

高齢化の進展に伴い、対象者の増加等開催に課題がある。今後のあり方について見解を伺う。

来年度から対象年齢を75歳から77歳からにしたい。

対象年齢を77歳からにしても、近々、再び同じ課題に直面すると思うかが。

対象年齢を節目の歳にする等、抜本的な見直しは町会等の意見を斟酌し検討する。

③町会への支援について

町会に対し職員を派遣する等、人的支援を規定している渋谷区の町会支援条例を研究し、本市でも条例の制定を検討してはどうか。

町会長連合会に意見を伺い、参考にして検討する。

①消費者教育の充実について

消費者教育推進法に対する市の取り組みは、

消費者教育基本計画の策定は県の基本計画を参考にしつつ、策定については調査研究をしていく。

②いのちを支える街づくりについて

改正自殺対策基本法に対する市の現状と課題は、

関連施策と連携し総合的・政策的に対策を講じる。

無料通話アプリ「LINEE」を利用したいじめ相談の導入は、

一層のいじめ相談体制の構築に向け「LINEやSNSを利用したいじめ相談の導入」について、国や先進地域の動向を注視していく。

③がん検診の充実を

スマートフォンのなどで、がんのリスクを判断できる「簡易がんチェックシステム」の導入について。

がん検診受診率の向上策としては有用なものと考えられる。今後、先行事例について研究していく。

①台風・集中豪雨への対策・対応は

昨年の台風への対応の経験を踏まえ、どのような対策を考えているのか。

状況を把握するとともに、避難勧告などの避難情報伝達や各種対応などの確にできるよう「富士見市洪水対応時系列マニュアル」を見直している。

②本市の危機管理について

緊迫した北朝鮮をめぐる国際情勢において、弾道ミサイルが飛来する可能性のある場合の対応を更に閲覧できるホームページにしてはどうか。

県や近隣自治体とも情報交換等を行いながら、的確な情報提供ができるよう取り組んでいきたい。

③針ヶ谷中央公園の再構築を

同公園の噴水は機能しておらず、改善するか無くすかの局面にきていると思うが、

地域住民の皆様の思いに沿った対応をしていただけるのか。

地元町会の意見や要望等を聞きながら、改善方法を慎重に検討していきたい。

根岸 操(市民の絆)

①国民健康保険について

広域化を目指すものは、

持続的な医療保険制度、国保の財政基盤強化のための補助金の交付、赤字削減等の取り組みが求められている。

今後の保険料負担は、

国保運営方針で一般会計からの繰入金金の削減が求められているので、保険税の見直しを行わざるを得ない。

サービスの低下は無いのか。

低下は無いと考えている。

②鶴瀬駅東口について

東口周辺の交通安全は、

駅前への車両を減らすため、新しくできた区画道路に迂回させるための誘導看板を設置する。

限川写真館脇の交差点の信号機設置は、

現在、定周期性信号機の設置を要望している。

谷津幼稚園脇交差点に新しく右折帯が設置されたが、

交差点中心まで侵入しないようにリード線を設置したい。

③学校施設について

鶴瀬小の防球ネットは、

校舎側及びスライド式ネットも含め補修対応していく。

田中 栄志(21・未来クラブ)

①富士見市総合計画について

次期総合計画の今後の方向性は、

中長期的視点に立ち、どのようなまちを目指すのかを明らかにしていきたい。また、多くの方のご意見を頂き、丁寧な議論を重ねていきたい。

計画期間の見直し等を含めて検討してはどうか。

計画期間などを含め検討を進めていきたい。

②平成30年度予算編成方針について

基本方針は、

切れ目のない子育て支援の充実など、将来都市像実現に向け取り組みを更に加速したい。また、魅力を発信し、選ばれるまちを目指していきたい。

部局間連携については、

連携が重要なため、予算要求では関係部局間で協議・調整するよう周知する。

特別会計等に関する考え方は、

独立採算性の原則に基づき、安易に一般会計からの繰入れや補助金に頼ることのないよう経営の一層の健全化に努める必要があると考える。



鶴瀬駅東口にオープンした障がい者基幹相談支援センター

表紙写真を募集

議会だよりの表紙写真を募集しています。下記の要領でご応募をお願いします。

- ◆カラー写真
- ◆被写体のテーマ『私が選んだ富士見市百景』
- ◆写真(2L版)か写真データ
- ◆受付は随時行っています。
- *応募写真、データは返却いたしません。
- *写真のタイトル・撮影日時・場所を明記
- *メールでの応募も可能です。
- ◇採用の方には、富士見市の特産品を贈呈します。
- ◆送付先 〒354-8511 富士見市大字鶴馬1800番地の1 富士見市議会事務局 あて TEL 049-251-2711(内165・166) FAX 049-255-9637 メールアドレス gikai@city.fujimi.saitama.jp

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送
録画映像 会議終了後1週間程度で配信
スマートフォン・タブレット・パソコンで閲覧できるようになりました。議長の公務記録や政務活動費の領収書などの議会の情報もホームページで公開しています。

富士見市議会

検索

とクリック。

決算議案に対する各会派の討論

平成28年度の一般会計
他8会計の決算は、議員全員で構成された予算決算常任委員会(八子委員長・川畑副委員長)に付託されました。審査にあたり、総務、文教福祉、建設環境の3分科会を設置し、各分科会において審査しました。

本会議最終日には、予算決算常任委員会委員長が委員会審査報告を行った後、質疑、討論、採決が行われました。

ここでは、定められたスペースで各会派が執筆した原稿を掲載しました。

21・未来クラブ (認定)
平成28年度決算を総合的に見ると、市税収入や予算規模が過去最大となり、活況な1年であった。一方、財政構造の弾力性の指標である経常収支比率が悪化し、予算規模拡大の半面厳しい財政運営を強いられるという現状が見える。

しかしながら、効率的な行政運営を進める中で、計画的な事業や新規の予算も執行され「魅力と賑わいのある誰もが安心して暮らすことができまらづくり」への取り組みを評価し認定とする。

日本共産党 (不認定)
2016年度は実質収支約6億4千万の赤字となった。不安定雇用の増加、年金引き下げなど市民生活は非常に厳しい状況にあり、子どもの貧困実態調査の取り組みは評価する。

一方、滞納世帯への差し押さえが52件と増加、子どもの貧困は大人の貧困問題と捉え生活再建の支援に転換することが必要。市民総合体育館の復旧後の雨漏りの検証、利用時間・料金の見直しを求め不認定とする。

草の根 (認定)
平成28年度は、歳入は人口増を主な要因とし、歳出は市民総合体育館の復旧及び改修工事に伴い、共に前年度より増となった。歳入歳出のバランスを示す、実質収支比率は3.7%であり、健全な数字であることを評価したい。

入札業務において、プロポーザル契約の際も競争入札と同じく参加業者、入札金額の公開など、債権管理条例が制定された今、より進んだ財政の適正化、情報公開を行うことを求めて認定とする。

公明党 (認定)
市税は過去最大の税収規模となり、市民総合体育館の復旧に関する収支が大きかった。自然災害から市民の安全を守る取り組みの重要性が増している。人口が11万人を超え微増していることから施策が一定の成果をあげていると評価する。市民ニーズに応え、みずほ台駅西口エレベーターの設置等の施策が展開された。今後も水谷柳瀬川地区の土地利用などを進め、住み続けたい市に発展させる行政運営を行っていただきたい。

市民の絆 (認定)
決算内容は、歳入・歳出とも昨年を上回るものになったが、財政力動向では、財政力指数・経常収支比率とも若干上回っていることを危惧する。施策面では、子育て支援やいじめ防止対策、各種福祉、都市基盤整備、防災・減災などを評価する。

反面、子どもの貧困は増加傾向にあり、今後学校給食の無償化や18才までの子ども医療費無料化を要望する。また不用額のさらなる効率的運用を要望し認定とする。

議案審議報告

議案第52号
平成29年度富士見市一般会計補正予算(第2号)
(賛成多数可決)

既定の予算に1億302万1000円を追加し、予算の総額を34億6876万8000円とするものです。

《主な内容と金額》

- ・マイナンバーカードや住民票等へ旧姓併記するため、住民基本台帳システムを改善するための補正。〔291万2000円〕
- ・公共施設の老朽化対策等に備えるため、公共施設整備基金へ積立を行うための補正〔2億円〕
- ・国民健康保険特別会計予算の補正に伴い、同特別会計への繰入金を減額するため補正。〔△524万9000円〕
- ・臨時財政対策債の発行可能額の確定に伴い減額補正するもの〔△4604万1000円〕

諮問第3号
人権擁護委員の推薦について
(全会一致同意)

平成29年12月31日で任期満了となる根岸由紀子氏を再び推薦することに同意したものです。

諮問第4号
人権擁護委員の推薦について
(全会一致同意)

平成29年12月31日で任期満了となる長堀善光氏を再び推薦することに同意したものです。

陳情審査報告

《総務常任委員会》

陳情第5号
年金の毎月支給を求める意見書を国に提出することを求める陳情
(不採択)

陳情者 全日本年金者組合 埼玉県本部 富士見支部 支部長 小倉 洋一

《文教福祉常任委員会》

陳情第4号
生活保護家庭の子どもの大学又は専修学校等の進学率向上のための支援策を求める意見書の提出を求める陳情
(採択)

陳情者 富士見市社会保障をよくする会 会長 小石 治男

《建設環境常任委員会》

陳情第3号
針ヶ谷地区街路樹の間引きを求める陳情
(採択)

陳情者 針ヶ谷1丁目町会 町会長 小澤 実

《建設環境常任委員会》

陳情第6号
富士見市立老人福祉センターの管理・運営に対し、さらに利用者サービスの向上を求める陳情
(不採択)

陳情者 鈴木 孝吉

意見書(要旨)

小中学校におけるプログラミング教育必修化に対して支援を求める意見書

インターネットの単なる普及に止まらず、インターネットを活用したIoTの活用分野の拡大、自動車の自動運転をも可能とするAI(人工知能)の開発など、近年におけるIT技術の発展は著しい。我が国においてもグローバルに活躍し得る人材を育成する上で、ITスキルの向上は不可欠なものであるが、2015年時点でIT人材不足数は約17万人人、2030年には最大で約79万人人が不足すると試算されている。

また、小学校でのプログラミング授業を先行実施している一部基礎自治体との整合性が取れないこと、各都道府県教育委員会において、人材育成、指導内容等について、独自に試行錯誤を繰り返しているが、「どの分野に力点を置き、いかなる人材を養成すべきか」との課題は残されたままである。地域間の格差を是正するためにも、中核となる指導内容については全国共通のものとなることが求められる。

児童生徒たちは幼少期より一定程度IT機器に接することが珍しくない中で、教員に求められる技能は自ずと高いものとなるを得ない。

このことから、近年、特に顕著となっている教職員の多忙化に拍車をかけることとなりがねず、外部人材の活用など、人的あるいは財政的支援が必要となる。

小中学校におけるIT機器の整備は、自治体の財政力により整備状況に大きな差が生じているのが実情である。プログラミング教育において、自治体間の格差を是正するためにも、指導上必要となる機器の整備などに対する財政措置が求められる。

また、小学校でのプログラミング授業を先行実施している一部基礎自治体との整合性が取れないこと、各都道府県教育委員会において、人材育成、指導内容等について、独自に試行錯誤を繰り返しているが、「どの分野に力点を置き、いかなる人材を養成すべきか」との課題は残されたままである。地域間の格差を是正するためにも、中核となる指導内容については全国共通のものとなることが求められる。

児童生徒たちは幼少期より一定程度IT機器に接することが珍しくない中で、教員に求められる技能は自ずと高いものとなるを得ない。

このことから、近年、特に顕著となっている教職員の多忙化に拍車をかけることとなりがねず、外部人材の活用など、人的あるいは財政的支援が必要となる。

小中学校におけるIT機器の整備は、自治体の財政力により整備状況に大きな差が生じているのが実情である。プログラミング教育において、自治体間の格差を是正するためにも、指導上必要となる機器の整備などに対する財政措置が求められる。

1. 対策を講じるに当たっては、準備と実施までの周知期間を設けること。

2. 屋内の職場・公共の場を全面禁煙とするよう求める

「WHOたばこ規制枠組条約第8条の実施のためのガイドライン」を十分考慮すること。

3. 各自治体の路上喫煙規制条例等との調整を視野に入れて規制を検討すること。

提出先
衆議院議長 参議院議長 厚生労働大臣

旧市道第982-1426号線への市民の通行を可とする施策を求める陳情 (不採択)

陳情者 大野 浩之外157人

2. 円滑な指導を行うため、自治体間の格差を是正するために必要な財政措置を行うこと。

3. 民間の人材を積極的に活用したり、小規模な自治体などにおいて適正な人員配置が困難な場合など、広域での対応を認めるなど、弾力的な人材配置を認めること。

提出先
内閣総理大臣 文部科学大臣 経済産業大臣



市民の声

秋元 節子

子どもが小学校に入学するのを機に、富士見市に越してきたのは20年ほど前。自然の豊かさや人の温かさに触れ、この地域が大好きになった私だ。沢山の人に出会いながら、親子で楽しい日々を過ごしてきた。

近頃は、新しい家があちこちに建ち始めた。新しく越してきた人にも、ここに住んでよかったと思ってもらえたら嬉しい。子どもたちが、いろいろな人と出会いながら育っていったらいいなと思う。

そんな中、すべての子どもが、夢に向かってチャレンジできるよう「子ども未来応援センター」ができた。母子手帳をもらった時から、出産、子育てを通じて心配なことがあれば、何でも相談にのってくれる所ができて心強い。パパママが安心して子育てできるということは、きっと子どもたちの笑顔へとつながっていく。どの子どもも笑顔でいられますように心から願いながら、私にもできる小さなお手伝いをしていきたいと思っている。

編集後記

実りの秋となりました。一方、台風による被害を心配する声が多く聞かれます。現在、富士見市では、水害による災害マニュアルの見直しが進んでいますが、市民の安全が守られる取り組みの質問が多く出されました。

